

津波等の突発大災害からの避難の課題と対策に関する研究委員会
第7回避難の課題の調査・分析部会（都市避難部会）議事録（案）

文責：久保

日 時：2013年11月22日（金）14:00～16:00

場 所：東京大学駒場リサーチキャンパス An棟4階 小会議室1（An405）

出席者(敬称略)：生田、市古、大原、大森、久保、後藤、「小山」、末松、高田、久田、ユンナミ、三上(早稲田大学)、藤岡(工学院大学)「」は Google Hangouts での参加、()は委員以外の参加者

配布資料：

- 7-1 第7回避難の課題の調査・分析(都市避難問題)・議事次第
- 7-2 第6回避難の課題の調査・分析(都市避難問題)・議事録(案)
- 7-3 避難所変更図(市古委員)
- 7-4 品川区避難地図(市古委員)
- 7-5 東京都における広域避難場所指定の経緯と論点(市古委員)
- 7-6 地下街地震対策に補助 新聞記事(大森委員)
- 7-7 地下街における避難誘導対策のための試験施行報告(大森委員)
- 7-8 研究紹介資料(大森委員)
- 7-9 平成25年台風18号豪雨に伴う大阪市における避難状況(生田委員)
- 7-10 2012年ハリケーンサンディによる高潮災害のニューヨークにおける現地調査に基づく臨海都市域の浸水災害と減災策に関する考察(三上さん)
- 7-11 2012年ハリケーンサンディに関する資料(ユンナミ委員)
- 7-12 久田部会長の資料

議事（出席者の予定により、議事次第の順番と多少変更となった）

1) 2012年ハリケーンサンディによる被害調査報告

- ・ユンナミ委員から、資料7-11とプレゼン資料により報告があった。
- ・早稲田大学三上さんからニューヨークで行った現地調査に関する報告があった(資料7-10)。

2) 委員研究の紹介・報告

- ・大森委員から地下街における浸水対策の現状や名古屋市内地下街におけるゲリラ豪雨の浸水被害について、研究紹介があった(資料7-6, 7, 8)。
- ・市古委員から東京都における広域避難場所の経緯と論点に関する報告があった(資料7-3, 4, 5)。

3) 確認事項及び親委員会への報告について

- ・前回議事録案(資料7-2)について、承認された。
- ・同日午前中に実施された親委員会の内容について、後藤委員長から報告があった。
 - 委員会の継続(次年度)について、議論があった。都市避難部会としては次年度も引き続き委員会を継続していただき、成果と次年度に取りまとめる形にしたい。
 - 特集号論文集について、WGを近日中に行い、応募や原稿締切りなどの日程を決める予定である。
 - 2014年2月7日の震災対策技術展で都市避難部会として一般向けの講演を行い、2014年3月10日に工学院大学新宿キャンパス20階第6会議室で、報告会を行う

予定である。2014年3月10日の建築会館の予約については、キャンセルしたと報告があった。

- ・日本地震工学大会でのOSについて、市古先生と後藤委員長、久田先生からOSでの議論と参加者の状況について、報告があった。

4) 水害に関する調査報告について

- ・生田委員から平成25年台風18号豪雨に伴う大阪市における避難状況について、報告があった(資料7-9)。
- ・時間の関係で、小山委員と大原委員の報告などは次回に行っていただくことになった。

5) 次回の会議

- ・次回の日程は2014年1月21日10時から12時に工学院大学新宿キャンパス 26階A2610で実施する。今回の報告できなかった水害に関する調査などについて、報告を行っていただく。

以上